

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

| | | | | |
|--------|------------|--------|----|--------------|
| 記入年月日 | 平成15年3月14日 | | | |
| 平成15年度 | 事業コード | 32630 | 電話 | 042-769-8268 |
| 担当部課名 | 土木部 | 下水道管理課 | 課 | 普及指導 班 |
| 事務事業名 | 水質管理経費 | | | |

1 総合計画における位置づけ

| | | | |
|-------|------|------------------|--------|
| 政策名 | 第2章 | 質の高い都市基盤の整備を進めます | 事業開始年度 |
| 基本施策名 | 第6節 | 下水道の整備と管理 | 63以前年度 |
| 施策名 | 第3施策 | 下水道管理の充実 | |

2 実施根拠及び関連法令等

| |
|--|
| 下水道法第3条（管理）・第13条（排水設備等の検査）及び流域下水道維持管理要綱第18条（特定事業場等の監視） |
|--|

3 事務の区分

| |
|------|
| 自治事務 |
|------|

4 経費の区分

| |
|-------|
| 義務的経費 |
|-------|

5 事務事業の分類

| |
|-------|
| 市単独事業 |
|-------|

6 受益者負担

| |
|----|
| なし |
|----|

7 事業概要

| | |
|---|---|
| (1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか | (2)対象(誰、何) |
| 工場・事業所排水を監視・指導し排除基準内で排出させることにより、都市基盤である下水道管の機能及び構造を保守し公衆衛生の向上に寄与し、併せて流域下水道からの放流水の適正管理が行われることにより公共用水域の水質の保全に資することを目的とする。 | 市内工場・事業所の内、特定事業場及び除害施設設置事業場。以下工場等と言う。 対象数 752社(15年2月末) |
| (3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容 | |
| 事前対策として(年度末見込み値) ・特定施設や除害施設の設置等の申請書類の事前審査を実施(届出書類152件) 稼働後の工場・事業場への対策として(年度末見込み値) ・立入調査 31社 ・工場等の排水検査として369検体4899項目の水質測定を実施(11検体12項目の改善指導を実施) | |
| (4)個別計画の概要 | 概要 |
| 計画名 | |
| 計画年次 | 年度～年度 |

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

| 成果指標 | 指標名 | 指標式 | 指標設定の意図 | 指標の推移(年度) | | | | |
|------|----------|---|--|-----------|----|----|----|----|
| | | | | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| | 基準内排水率 | $100 - (\text{基準超過検体数} / \text{検査検体数} * 100) = \%$ | 排除基準内での排出率を把握し、適正な排水の維持を図る。 | 98 | 96 | 97 | 97 | 97 |
| | 審査調査指導指数 | $(\text{申請数} + \text{立入調査数} + \text{水質検査項目数} + \text{指導項目数}) / \text{工場等対象数} = \text{指数}$ | 工場等に対する審査数、立入調査、検査及び指導項目数の合計を指数化し、事業活動を計る。 | 7 | 8 | 7 | 7 | 7 |

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

| | 平成12年度 | 平成13年度 | 平成14年度 | 平成15年度 | 平成16年度 |
|------------|--------|--------|--------|--------|---------|
| | 決算 | 決算 | 決算 | 予算 | 予算(見込み) |
| 事業費 | | | | | |
| 決算(予算)額 | 9,905 | 10,451 | 8,479 | 10,135 | 10,135 |
| 人員・時間数 | 2/人・年 | 3/人・年 | 3/人・年 | 3/人・年 | 3/人・年 |
| 人件費 | 16,780 | 25,170 | 25,170 | 25,170 | 25,170 |
| その他経費 | | | | | |
| 合計 | 26,685 | 35,621 | 33,649 | 35,305 | 35,305 |
| 特定財源 | 799 | 699 | 1,026 | 649 | 649 |
| 対象数 | 705 | 738 | 752 | 752 | 752 |
| 対象の単位あたり経費 | 37.9 | 48.3 | 44.7 | 46.9 | 46.9 |

10 個別評価

| | | | |
|---|---|---------------------|--|
| (1)達成度 評価 A ▼ | A: 達成している | チェック項目 | ・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 |
| | B: 一部達成していない | | ・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 |
| | C: 達成していない | | ・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 |
| | | 説明 | 申請類は、法・条例に基づき実施しており、また工場等への水質検査も流域下水道維持管理要綱により定められた頻度や項目を対象工場等全てに実施した。 |
| (2)必要性 評価 A ▼ | A: 適応している | チェック項目 | <input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている |
| | B: 一部適応していない | | <input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している |
| | C: 適応していない | | <input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない |
| | | 説明 | <input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 公衆衛生の向上と公共用水域の保全のために設置された下水道管を劣化から守り、下水道終末処理場の維持管理の確保を図ることは、必要な事業である。 |
| (3)有効性 評価 A ▼ | A: 有効である | チェック項目 | <input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である |
| | B: 一部有効でない | | <input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている |
| | C: 有効ではない | | |
| | | 説明 | 下水道管の機能・構造の維持と下水道終末処理場での維持管理の確保が図られている。 |
| (4)効率性 評価 A ▼ | A: 優れている | チェック項目 | <input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている |
| | B: 一部改善の余地がある | | <input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている |
| | C: 改善の余地がある | | <input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている |
| | | 説明 | <input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 下水水質の適正管理による公共下水道管の延命化は下水道管建設費と比して極めて経済性のあるものである。 |
| (5)公平性 評価 A ▼ | A: 公平である | チェック項目 | <input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である |
| | B: 一部公平でない | | <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である |
| | C: 公平でない | | <input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している) |
| | | 説明 | 流域下水道維持管理要綱により工場等の監視等、要領が統一されており公平性が保たれている。 |
| 成果向上の余地 | | 事業費削減のために取り得る手段と削減額 | |
| <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない | 説明: 現状評価が全てAであるが、今後工場地帯の下水道への接続が増加する状況であることより、この良好な状況を保つ事が重要である。 | 手段 | 工場等1社あたりの項目数は削減しているが、監視指導強化が求められている中では、検査サイクルの緩和は困難である。 |
| | | 削減額 | 0 千円 |

11 総合評価

| | | |
|-------------------------------------|--------|--|
| 評価 | AAA ▼ | 他自治体の類似事業との比較 各自治体により下水道への接続率や接続工場等数が異なるため比較が難しい。 |
| | 今後の進め方 | |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 継続 | 総合評価に関する説明 現状は、事業の目的である都市基盤である下水道管は良好に保たれており、公衆衛生の向上と公共用水域の水質の保全に寄与している。今後、工場等の接続が増加するため現状の水質監視体制を継続して行くことが重要である。 |
| <input type="checkbox"/> | 見直し | |
| <input type="checkbox"/> | 廃止 | |
| <input type="checkbox"/> | 完了・廃止済 | |

12 二次評価コメント

| |
|-----------------------------|
| 優良な工場に対する検査サイクルの見直しの検討を行うこと |
|-----------------------------|